

令和4年度第2回佐伯市林業振興協議会 会議の抄録

1 開催日時

令和4年11月25日（金）午前10：00～午前11：15

2 開催場所

佐伯市中村南町1番1号

佐伯市役所6階 第1委員会室

3 出席者等

出席委員7名、欠席委員2名

事務局 林業課課長、総括主幹2名ほか課員2名、傍聴者0名

4 内 容

（1）開会

（2）農林水産部長あいさつ（部長別公務のため林業課課長が代理）

（3）会長あいさつ（市川会長）

（4）議長選出（市川会長）

（5）議題 第2次 佐伯市林業振興計画（R5～R9）の策定について

①事務局から「第2次佐伯市林業振興計画」資料に沿い、内容を説明

②委員から出された意見等

- ・ 林地や路網（特に谷や作業道）について、台風等が来る度に土砂が埋まってしまったり、治しても同じことが繰り返される感じがしている。簡単なことではないが、それを防ぐような手立てがないか。そんなことを野外で感じている。
- ・ 有害鳥獣に関してはフェンスなどの柵を作ること以外に、呼び寄せない、えさを与えないことがすごく大事だと思う。売り物にならなかつたり、そのまま放置している果樹など鳥獣の招き寄せを防ぐためには、情報発信が大事と思う。結構知らない人が多いと思うので、施策として取り入れて、情報発信をされてはどうか。
- ・ この計画は計画で良いが、今現実にある路網は台風で改修・修繕箇所がたくさんあるはずである。市民一人ひとりができるわけでもないから、市として、どういうふうに対応してくれるか改修・修繕箇所の対応について検討をしてもらいたい。
- ・ 佐伯型循環林業の「伐って、使って、植えて、育てる」ということであるが、除間伐等の保育施業の必要性について、森林所有者の意識啓発は十分に足りているか。
- ・ スギの苗木について、既存のオビ杉に加え、エリートツリー等の別品種は検討されているか。
- ・ 未整備森林の取組については、大体間伐が主体になると思うが、切捨間伐ということではどうか。利用間伐であれば、経費の面等難しい面もあると思う。
- ・ 地球温暖化の気候変動もあり、大雨等多くなってきた。林道等崩れにくい路網整備が本当に必要になってくると思う。
- ・ 計画書には写真の掲載があるが、文章に見合った写真を選択するのが適当である。今一度、確認を。
- ・ 計画書の目標数値については、第1次計画書から見直されていて、色んな指標を増や

されているが、実現が難しいものとか、市役所予算ではコントロールできないものとか中々周りの他の状況に左右されるものもあったりするので、市が主体的に関わり達成できるものに絞るなどすれば、成果の検討・評価がし易いのでは。

- 林地残材をバイオマス燃料として発電しようという流れになっているが、昔は切捨間伐等で葉や枝など林地に残してきたので、それが栄養分の役割の面もあったと思う。林地残材を有効に使ってエネルギーを生み出すのは非常に良いことであるが山の地力（栄養）の観点が気になる。戦後の拡大造林により、今がその伐期にきているが、今、植林する木が 50 年 60 年先に同じスピードで育つのか、考えていった方がよい。個人的には、林地残材を全て根こそぎ取ってしまうのは、どうかなと感じている。
- 雑木林について、昔は雑木の更新（伐採により天然更新・下種更新）があったが、今はあまり伐るところも知らないし、伐るところも見えていないし、山の上の雑木を伐ったという形跡もない。今後 50 年 60 年経った時に、雑木林をそのまま残してよいのか、更新した方がよいのか、そのような観点も必要でないかと思う。

（6）閉会

事務局から今後のスケジュールを説明し、本日いただいたご意見等を参考に、写真や文章記載の一部修正等を行っていくことを確認し、閉会した。